

甲虫屋のマスターすばきプロレスの必殺わざ

諸道 秀人

なぜ、虫屋がプロレスの必殺わざをマスターせねば、ならないのか。

それは、大木の樹上にいるカミキリなどを、とるために振動を与えると落下してくるからである。では、そのわざのかずかずを難易順に示すことにします。

◎ 難度A 横ゲリとはり手

この二つの技は、最も基本的なものであるからマスターするように心掛けてほしい。

短足の方は、たいてい上半身が発達しているのではり手をお進めする。また横ゲリは、比較的バランスをとるのがやさしいので、やっていただきたい。

上の二つの技は、首のした落下点を見きわめやすい。

◎ 難度B 前ゲリと、とび横ゲリ

ご存事 ジャイアント馬場さんの十八番であります。12文ぐらいでも、けっこう威力がありますし、横ゲリも入れると、飛んでけつとばした方が、これまた威力がでます。

◎ 難度C とび前ゲリと、回転回し後ゲリ

これは、上級者向けの技であるので、くれぐれも、崖ぶちでやらないように。

また失敗すると0000を強打するので気をつけて。

◎ ウルトラCのわざ ドロップキック

これは、どうまほろしの必殺わざで、これができるとNWAのチャンピオンに挑戦できます。威力もばつぐんで、ミヤマクワガタやシロスジカミキリ向きである。

注1. くれぐれも、頭突き、空手チョップ、みざがり、回し

げりはやらないように、確実に出血します。
注2. 虫の他にも今までの経験では、ヘビ、ムカデ、ガマガ
エル、鳥の巣なども落るので、びっくりしてはいけません。

連載シリーズ

採集と飼育2

諸道 秀人

○イネ科の植物を食草とするセセリチョウ類

セセリチョウ類は、一部を除くとイネ科・タケ科・カヤツリグ
サ科を食草としている。

このイネ科を食べるセセリチョウ類については、その食草とな
るイネ科が広範囲にわたっており、かつ同定も難しいのでよくわ
からない点が多いが、現在までに筆者の観察したのにつき解説
する。

1. コチャバナセセリ

とっともよく見つかる種であり、一つの葉を筒上に巻き、
中脈のみでぶら下っているのが明白に区別できる。

食草は、タケ科のササ類のみであるが、飼育ではメダケ類
を与えてよい。

2. ホソバセセリ

本年、住吉町でイネ科のカリヤスへ産卵する子を観察した
が、大津市では、木陰の貧弱なススキが唯一の食草である。

3. キマダラセセリ

食草は、イネ科のササクサ・エノコログサ・ススキやタケ
科のメダケであるが、飼育には、広範囲のイネ科を代用でき
るので、とっとし新しい食草が見つかる可能性がある。

ススキについては、幼虫は非常によく似ているので見
分けに注意が必要。

4. オオチャバナセセリ

タケ科のササ類を食べるが、メダケでも飼育できる。本種

の幼虫は美しい緑色を呈し、葉は2~3枚の葉より形成されるのでよく区別がつく。

5. チャバネセセリ

本県では、イネ科のエノコログサであるが、飼育ではXヒシバも食べるが、大津市では、イネ・ヨシ・セイヨウシバ等の広範囲のイネ科を食草とする。

本種の幼虫は、終令もしくは亜終令では、葉をつくらないのので採集には、弱令時が適する。

6. イチモンジセセリ

イネ科のイネが主な食草だが、秋には放卵し各種イネ科の雑草を食べる。

また以上の六種は、どれもハエによる寄生をうけ幼虫より脱出する。

その他、石川県内に分布するセセリチョウ科には、キバネセセリ、ホンチャバネセセリ、ハリグロチャバネセセリ、コキマダラセセリ、ヒメキマダラセセリ、ミヤマチャバネセセリの六種があるが、飼育を行ない次第発表する。

採集Xモより

その3

金平 永二

JUNE 15. 1979

金沢市卯辰山



午前中で授業が終ったので卯辰山へ行く。昨日ゴイシジミの交尾とスミナガシの占有行動を目撃した循環道路へ行くことにする。

14:00頃スミナガシを目撃したポイントへ着いたが、今日は時刻がまだ早いのかそれらしき姿を見かけない。

ゴイシジミはやや破損したものがほとんど。ダイミヨウセセリはほとんどが痛んでいる。モンキアゲハをよく見かけるが、これとかなり痛んでいる。キマダラヒカゲ、コミスジ、コチャバネセセリなども痛んでいて、今の時期は全く中途半端である。

新鮮なものといえば、イチモンジチョウとヒオドシそれにキチョウ、ルリシジミオス化などだろう。午後3時半頃、再びスミナガシ

のポイントへ行くと、何頭ものスミナガシが追飛しているのが見られた。合計7~10頭は目撃した。高いところで占有するため、5mぐらいのさおが必要。

スミナガシ 2ex. モンキアゲハ 1ex. キチョウ 1.
ルリシジミ 1♂.

JULY 16. 1979 長野県・信濃追分



金沢2時44分発の急行越前で朝の晴頃、到着。短さおしか持って
いかなかったので、ゼフたたきはず。

ヒメヒカゲ 15ex. Xスアカミドリシジミ 1♀.
ミズイロオナガシジミ 1ex. ミヤマシジミ 2♀♀.
ヒメシジミ 1♂1♀. コキマダラセセリ 2
スジボソヤマキ 1♂. コヒヨウモン 1ex.
ホシミスジ 1ex.

目撃: アサマシジミ(ボロ)、ウラナミアカシジミ、アカシジミ
ジョウザンミドリシジミ、イチモンジチョウ(多数)
ミヤマカラスシジミ、バニシジミ.

1974年度井縄採集旅行採集蝶一覧(その6)

板井 正人

シジミチョウ科

この年は、キヤマラが採れているとのウワサが信州伊那まで流れていた。これはヒョットするとヒョットするかも知れないと思いつつ、内心ニキニキしていた。ウワサでは知念半島と言うだけであつたので半心、心配でもあつた。

しかし現地へ行けば存人とかなるだろうと、意気揚々と井縄へ乗り込んだのであつた。本島では一人の虫屋とも合わず、こゝろはずではと思いつつ、石垣行の船に乗つたのである。

この船の中で、四人程の虫屋に会い、しめしめと触角を伸ばした所、キヤマラは波照間で採れているらしいが、遠すぎるので行かないなどのたまう。それから今年は雨が少ないので天水に頼る(?)竹窟は、水不足で赤痢が発生しているとも言つた。その時純真を、

僕は竹富を何もしないクソ島だから、関係ナイワイと思った。
 (これがワナだったのである)

結局、与那国へ向う小舟で大ヨイにヨった僕は、没問題と言う遠い遠い島へは行くことができなかった。そして知念半島と言う漢字とした地名だけで、白米島を回って見たものの、採れる訳はなく、キムラはガセと固く心に決め、沖繩を去ったのである。

しかし、伊那に帰り着いた時には、キムラは竹富で採れていると言うニュースが、僕を待ち受けていた。

シジミチヨウはまだ半分も整理してないんですよ。

1) イワカワシジミ	3♂♂ 1ex 1♂2♀♀ 1ex 1♂2♀♀	VIII 7. 沖繩本島 VIII 22. 石垣島 VIII 23. " VIII 24. " VIII 25. "	ヌーハー バンナ " " "
------------	-------------------------------------	--	----------------------------

2) ウラナミシジミ	1ex 3exs 1ex 2exs 1ex 5exs	VIII 6. 沖繩本島 VIII 7. " VIII 8. 石垣島 VIII 9. " VIII 17. 西表島 VIII 19. "	ヌーハー " バンナ " 祖納 "
------------	---	---	----------------------------------

3) オジロシジミ	1ex 13exs 10exs 6exs	VIII 7. 沖繩本島 VIII 9. 石垣島 VIII 17. 西表島 VIII 19. "	ヌーハー バンナ 祖納 "
-----------	-------------------------------	---	------------------------

4) アマミウラナミシジミ	4exs 1ex 1♂2exs 2exs 1♂1♀5exs	VIII 12. 石垣島 VIII 22. " VIII 15. 西表島 VIII 16. " VIII 17. "	川平 荒川 祖納 カピヨ 祖納
---------------	---	--	-----------------------------

5) ヒメウラナミシジミ	2exs 2exs	VIII 15. 西表島 VIII 23. 石垣島	祖納 バンナ
--------------	--------------	------------------------------	-----------

6) ルリウラナミシジミ	2♂♂1♀ 10exs	VIII 18. 西表島	千立
--------------	----------------	--------------	----

	4exs.	VIII 19.	西表島	祖納
ウヤマトシジミ	2exs	VII 9.	沖繩本島	天久台
	3exs	VIII 6.	"	ヌーハー
	2exs	VIII 8.	石垣島	バンナ
	5exs	VIII 12.	与那国島	犬屋鼻
	2exs	VII 13.	"	比川
	1ex	VIII 19.	西表島	祖納
エハマヤマトシジミ	1ex	VIII 13.	与那国島	比川
クタイワンクロホシシジミ	13exs	VIII 8.	石垣島	バンナ
	2exs	VII 9.	"	"
	1ex	VII 23.	"	"
	2exs	VIII 18.	西表島	千立
	3exs	VIII 19.	"	祖納
	5exs	VIII 19.	"	白浜
クウキウウラボシシジミ	15exs	VII 16.	西表島	カピラ
	1ex	VIII 20.	"	祖納
クヤクシマルリシジミ	1♀	VIII 16.	西表島	カピラ
クウラギンシジミ	1♂	VIII 8.	石垣島	バンナ
	4♂♂ 2exs	VIII 12.	"	川平
	2♀♀	VIII 22.	"	吉原
	1♂	VIII 19.	西表島	白浜

- 会員住所変更のお知らせ -

- 金平 永二 〒920 金沢市小立野2丁目11-7
J-ポアキラ 201号 TEL 無
- 岩下 泰子 〒920-01 金沢市大場町東871-15
TEL 58-2727

- データーを求め -

石川県産セセリチョウのデーターを求めています。どの存記録を提出して下さい。送付先は松井会員まで、お持ち本誌に発表予定。

石川県産 Neptis 2種の記録

松井 正人

最近、石川県ではめずらしかったオオミスジやミスジチヨウの記録が、にわかに目につくようになった。これは蝶が増えたのか、あるいは採集人口が増えたのか、はたまた情報網が完備したのかは知らないが、真にけっこうな事である。

これからこのように新しい産地が続々と見つかることを望んでここにこれらのデーターを掲げる。(採)は採集、(目)は目撃を示す。なお、記録提供諸氏に厚く感謝の意を表します。

ミスジチヨウ

1977-V-31.	金沢市寺津	1♂(採)	松本和馬
1977-VI-19.	金沢市山科	1♂(採)	松本和馬
1978-VII-2.	尾口村新岩間温泉	1ex(目)	松井正人
1979-VI-12.	金沢市倉ヶ岳部落	1♂(採)	吉村久實
1979-VI-20.	金沢市平戸	1♀(採)	松本和馬
1979-VI-23.	吉野谷村中宮温泉	1ex(目)	松本和馬
1979-VII-5.	"	1ex(目)	金平永二
1979-VII-8.	白峰村市瀬	1♂(採)	野中 勝

この他、金沢大学植物園でも採れているようである。

オオミスジ

1977-VI-19.	金沢市山科	1♂(採)	碓井 徹
1978-VI-12.	金沢市小原	2♂(採)	松井正人
1979-VI-17.	金沢市上寺津発電所付近	1♂(目)	松井正人
1979-VII-4.	尾山町道路入口より奥に数km	1♀(目)	金平永二
1979-VII-26.	金沢市瀬戸	1♀(採)	野中 勝

白山のゴマシジミ

松井 正人

白山地方にゴマシジミが産することはすでに知られているが、その発生地、食草等は、不明のままであった。

最近、尾口村岩間温泉付近で、発生地が見つかり、筆者により数回の調査を行なったのでその結果を報告する。この報告をまとめる

にあたり、文献面で御協力頂いた松本和馬氏に御礼申し上げます。

1. 調査年月日

オ1回調査	1977年	7月	30日
オ2回調査	1977年	8月	7日
オ3回調査	1978年	7月	30日
オ4回調査	1978年	8月	6日
オ5回調査	1978年	8月	15日
オ6回調査	1978年	8月	27日

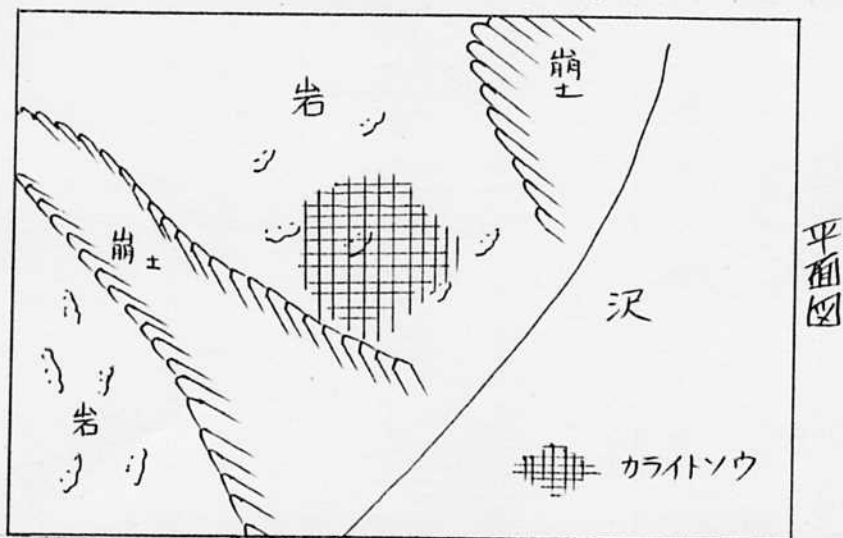
2. 調査結果

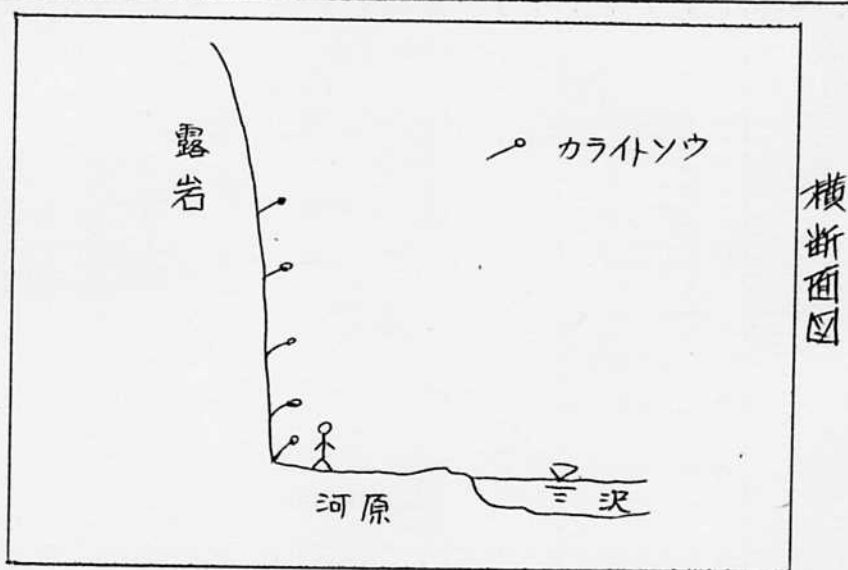
(1) オ1回調査

- ・岩間温泉付近の深谷を逆行中、ゴマシジミを発見する。
- ・付近は急峻な露岩地で、わずかな草付にカライトソウも交じっている。
- ・カライトソウ1株より2卵発見する。
- ・約1時間で10数頭目撃する。
- ・飛翔はわりと速く、露岩にそって上下に飛ぶことが多い。

(2) オ2回調査

- ・ゴマシジミ数頭目撃する。
- ・カライトソウ2株より卵を採し、1株より10卵発見する。
- ・発生地付近の平面図及び横断面図を作成する。





(3) *3回調査

- ゴマシジミ数頭目撃する。
- クガイソウにて1ex吸蜜するのを目撃する。

(4) *4回調査

- ゴマシジミ4exs目撃する。

(5) *5回調査

- ゴマシジミの成虫は見られなかった。
- カライトソウは20株を数えることができた。6株より印を捜す。

株NO.	花穂数	1花穂の印数 (卵化殻)	株NO.	花穂数	1花穂の印数 (卵化殻)
1	20	0(0)	4	3	0(0)
2	3	0(0), 0(0), 4(1)	5	2	0(0)
3	3	0(0)	6	2	0(0), 0(0), 2(0), 2(1)

(6) *6回調査

- 幼虫を捜す。

株NO	花穂NO	幼虫数(令)
1	1	1(1), 1(2or3)
2	1	3(2or3)
2	2	1(2or3)
2	3	1(2or3)

3. まとめ.

- (1) 発生は7月下旬より始まり8月中旬には終わるようである。
- (2) 発生地は、深谷の急峻な礫岩地で範囲はせまい。
- (3) 食草はカライトソウで、7月の終りには産卵が始まっているようである。
- (4) 飛翔は割と速く、礫岩にそって上下に飛ぶことが多い。
- (5) 吸蜜植物にはクガイソウがある。

*1.

1. 武藤 明 (1974) ゴマンジミ石川泉で採集する。
蝶と蛾 25(1):28
1972-VII-7. 白山新岩間~岩間ヒュッテ間(標高700~800m). 1ex. 沢田 博 採集
2. 富樫一次・鳥島昭信 (1978) 白山林道の昆虫類
石川泉白山自然保護センター研究報告オ4集:55~59
1977-VIII-1 蛇谷 1ex.

獅子吼高原採卵記

—— 諸道 秀人 ——

本年11月24日、八木橋氏と獅子吼高原にて、採卵をおこなった。結果は、ダイセンジミ3卵、ジョウザンミドリシジミ16卵、ミスイロオナガシジミ1卵であった。

八木橋氏が、ミスナラに登っていた時、横をアバックが通り、バカにして笑っていた。

11月26日、嶋城井氏と同所へ採卵に行った。結果、ダイセンジミ2卵、アカシジミ1卵、ミスイロオナガシジミ1卵、ジョウザンミドリシジミ5卵であった。同日、嶋城井氏は、木に登りアイノミドリシジミ1卵採り、調子にのって数本ミスナラに登ったが、ダイセン3卵、ジョウザンミドリ数卵に終わった。

1979・12月例会の記録

12月例会を12月17日(月)PM7:00より市内三口新街・赤坂プラザ内喫茶ミリーナにて開催した。

出席者は、野中、竹谷、松本、岩下、金平、吉村、松井、井村、諸道、嶋成井の10氏と新会員の八木橋氏。

議題としては、県内各地におけるゼフ卵採集情報……今年是不作?、白山のゴキオドシ(安田信夫・昆虫と自然VOL.1-NO.14)分布論、新入会員の八木橋氏の紹介、翔9号配布、他etc.

富山県より『富山県の昆虫』という大冊子が発行された

最近この手の出版物は全国的にブームのようで、1976年に『福井県自然環境保全基礎調査報告書』が、1978年に『石川県の自然環境』が発行されており、これで北陸3県の昆虫全般についての統括的出版物が出そろったという感じがする。

しかしながら残念なことにおひざ元の石川県発行物が一番出来が粗末のようである。それを一概にいえない面もある(予算の関係)が、石川県……の編集に関しては、その協力者の選定にも問題があるように思える。

としかく、『富山県の昆虫』は国内的に見ても、優秀な文献(昆虫と自然評)のようであるので、蝶達必見の価値がある。

まだ見てない人は、松井会員、嶋成井会員まで申し出て下さい。

蝶類学会 26回大会より

日本蝶類学会第26回大会が、1979.11.17~18、大阪府立大学(堺市)にて開催された。

蝶談会から松本会員あたりが大会に出席され、講演を聞かれましたと聞きます。

講演の主なもの(蝶関係)としては、タツパンルリシジミについての知見、モンシロ・スジグロの蛹化習性、蝶類の地理的種内変異にみられる日本海要素、ギフチヨウの産卵刺激物質、ギフチヨウの成虫分化、ギフチヨウ属2種幼虫の行動、房総ヤマキマダラヒカゲの生歴史、etc

講演者は、福田晴夫、原聖樹、蛭川舞男、矢田脩、高橋真弓等の日本蝶界のお歴々が顔を揃えたと聞く。

会場には、T. F. 氏の巨体も見られた由。

百万石蝶談会・会の成り立ちについて再認識を

本会が発足して1年間を経過した。発足当初の目的と多少ずれた点もなきにしもあらずの反面、目的以上の注目すべき面も多々あり、ますますの成果があったと思われる。

外部団体より反骨精神旺盛な分子の集団といわれながらも、リーダー保持者本人による執筆、記録の速報性をモットーに“翔”とすでに10号発行までに漕ぎつけた。

他会の某氏より、“翔”の内容は硬軟の差がありすぎる、会員の動向が激しすぎる、と評されているけれども、我々はけっこう満足している。

しかし、ここで一度、原点に立ち返り、会の成り立ちについて再認識し、会員諸氏の啓蒙をはかりたい。

“会の成り立ち”については、翔第1号を参照して下さい。
(編集子)

目 次

甲虫屋のマスターすべきプロレスの必殺わざ	諸道秀人	1
連載シリーズ 採集と飼育 2	諸道秀人	2
採集メモより その3	金平永二	3
1974年度沖繩採集旅行採集蝶一覽 (その6)	松井正人	4
石川県産 Neptis 2種の記録	松井正人	7
白山のゴマシジミ	松井正人	7
獅子吼高梨採印記	諸道秀人	10
1979・12月例会の記録		11
『富山県の昆虫』が発行された		11
鱗翅学会 26回大会より		11
百万石蝶談会・会の成り立ちについて再認識を		12

翔 №10

1980年 1月 31日

発行：金沢市三口新町 4-9-37 松井正人方
百万石蝶談会

編集：嵯峨井 淳郎